

第 15 章	社会(歴史)	名前:	日 付	No.01
	大正			

[問題 1]

次の各問いに答えよ。

- (1) 19 世紀末にイギリス、フランス、ドイツなどの列強が軍事力をもとに植民地支配を進めたが、このような動きを何というか。
- (2) 列強各国が植民地を求めた地域を 2 つ答えよ。
- (3) 植民地支配の動きを支えたのは交通網の拡大であるが、イギリスとインドの航海距離を半分に縮めた運河は何か。
- (4) 列強各国が植民地支配を進めた目的を答えよ。

[解答欄]

(1) 帝国主義	(2) アジア、アフリカ	(3) スエズ運河
(4) 資源や市場を確保するため。		

[解説]

[帝国主義]

19世紀末、資源や市場を確保するため
列強→アジア・アフリカを植民地
イギリス:スエズ運河(エジプト)

19 世紀末、イギリス、フランス、ドイツなどの列強は、原料や、製品の市場を海外に求めるようになり、軍事力を背景に植民地を求めてアジア・アフリカへ侵略を重ね、たがいに対立するようになった。

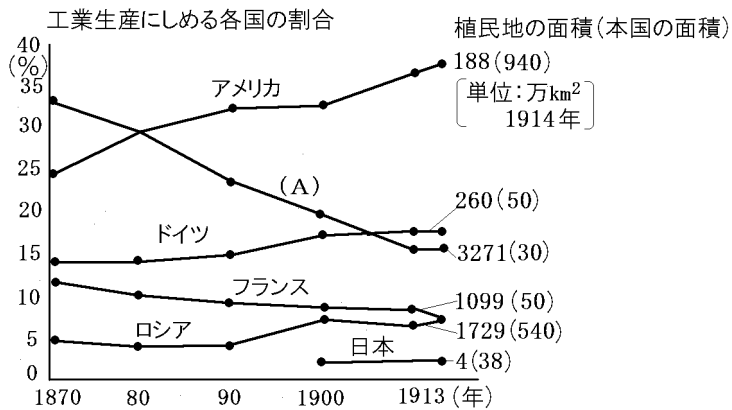
このような動きを帝国主義という。

イギリスとインドの航海距離を半分に縮めた交通路はスエズ運河である。

1869 年にスエズ運河が開通すると、イギリスは運河会社の株を買い占め、さらにエジプトを占領してインドへの通路を確保した。

[問題 2]

次の資料を見て各問いに答えなさい。



- (1) 上の資料の(A)の国はどこか、その国名を答えなさい。
- (2) 上の資料から読みとれることとして正しいものをア～オから選びなさい。
 - ア 1900 年前後でドイツは世界一の工業生産を誇るようになった。
 - イ (A)の国は、かつては世界一の工業国であったが、アメリカにその地位を奪われ、さらに工業生産の割合が低下し続けた。
 - ウ 世界で最も多く植民地を持つフランスは、徐々にだが工業生産が伸びていった。
 - エ 1900 年前後を境に、日本は工業が急激に発展するようになった。
 - オ アメリカもヨーロッパ各国同様、さかんに海外植民地を求め、多くの植民地を有していた。

[解答欄]

(1) イギリス	(2) イ
----------	-------

[解説]

- (1) 18 世紀、最初に産業革命を達成して世界の工場といわれたイギリスは、インド、カナダ、オーストラリア、エジプトなど全世界に植民地を広げた。問題の資料で 1870 年に工業生産の割合が世界一であったこと、植民地の面積が圧倒的に多いことから(A)はイギリスであると判断できる。
- (2) イギリスはかつて世界一の工業国であったが、アメリカにその地位を奪われ、さらに工業生産の割合が低下し続けたことが資料から読み取れる。したがってイが正しい。

[問題 3]

アフリカを分割したように、ヨーロッパ諸国が軍事力を使って植民地を広げていった動きを何というか。

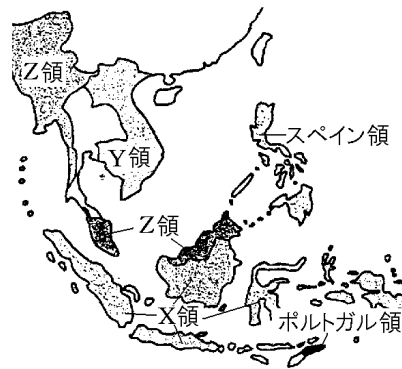
[解答欄]

帝国主義

[問題 4]

下の地図の X、Y、Z を植民地支配したヨーロッパの国名を、次から 1 つずつ選びなさい。

[イギリス フランス オランダ]



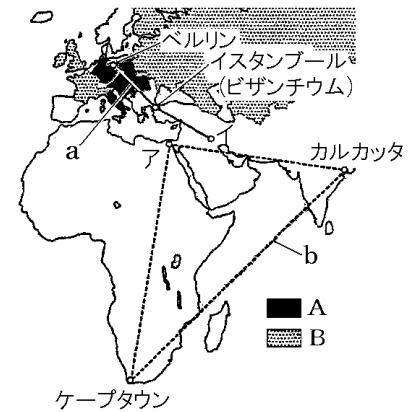
[解答欄]

X オランダ	Y フランス	Z イギリス
--------	--------	--------

[問題 5](1 学期中間)

第一次世界大戦について、右の地図を見て各問いに答えよ。

- (1) 地図中 A、B で示した国の間にはどのような軍事的な取り決めがあったか。それぞれ答えよ。
- (2) 地図中の a はドイツの、b はイギリスの政策を示している。それぞれ何というか。
- (3) 地図中ア、イの都市名を書け。
- (4) 地図中 A の加盟国であったが、領土問題から連合国側についた国はどこか。その国名を書け。
- (5) この戦争がおこった場所は「ヨーロッパの火薬庫」とよばれた半島である。この半島名を書け。
- (6) この戦争のきっかけとなった事件は何か。
- (7) (6)の事件の内容を説明せよ。

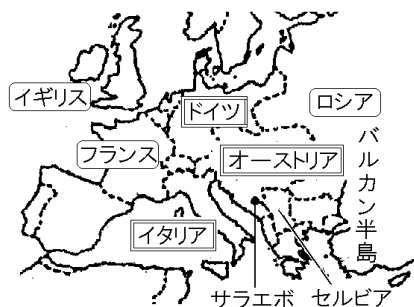


[解答欄]

(1)A 三国同盟	B 三国協商	(2)a3B 政策	b3C 政策
(3)アカイロ	イバクダッド	(4) イタリア	(5) バルカン半島
(6) サラエボ事件	(7) オーストリア皇太子夫妻が、セルビアの青年にサラエボで暗殺された事件。		

[解説]

三国同盟：ドイツ (3B政策)・オーストリア・イタリア
三国協商：イギリス (3C政策)・フランス・ロシア
バルカン半島：ヨーロッパの火薬庫
↓
1914年 サラエボ事件 (オーストリアの皇太子夫妻が セルビアの青年に暗殺される)
↓
第一次世界大戦が始まる



ドイツは、オーストリア、イタリアと三国同盟を結び、ベルリンービザンチウムーバクダッドへ積極的に勢力をのばそうとする 3B 政策をとった。これはイギリスの 3C 政策(カイローカルカッターケープタウン)と対立するものであり、イギリスは、フランス、ロシアと三国協商を結んで対抗した。

これらの列強は世界中で対立していたが、しだいにバルカン半島が対立の中心になり、民族・宗教の対立もからんで、バルカン半島は「ヨーロッパの火薬庫」とよばれるようになった。1914 年、バルカン半島のサラエボという都市で、オーストリアの皇太子夫妻がセルビアの青年に暗殺されるというサラエボ事件がおこり、オーストリアとセルビアが開戦し、ドイツ、トルコなどの同盟国がオーストリアにつき、イギリス、フランス、ロシアなどの連合国がセルビアについて、戦争は世界中に広がって、第一次世界大戦が始まった。なお、イタリアは戦争が始まると同盟国側についた。

[問題 6]

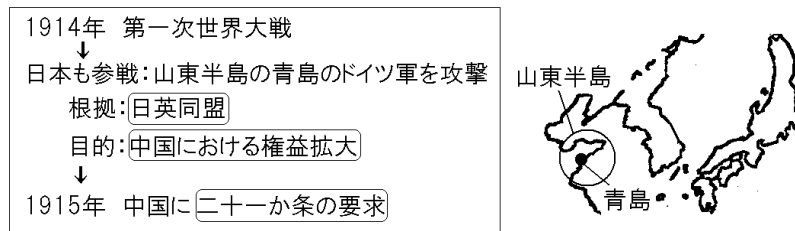
次の各問いに答えなさい。

- (1) 日本は第一次世界大戦に連合国側にたって参戦すると、ある国の拠点であった中国の青島などを占領した。ある国とはどこですか。
- (2) 日本が第一次世界大戦に連合国側にたって参戦した理由を、ある国との関係にふれて説明しなさい。

[解答欄]

(1) ドイツ	(2) 日英同盟を根拠として中国における権益を拡大するために参戦した。
---------	-------------------------------------

[解説]



日本は、**中国への権益をのばすために、日英同盟を根拠に連合国側にたってドイツの拠点であった山東半島の青島**を攻撃した。

さらに日本は中国に対して、**山東半島のドイツ権益の継承、旅順・大連の租借期間の延長など二十一か条の要求**を出し、これを認めさせた。